

1. 化学品及び会社情報

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 製品名 | : タキシール#600 U-980 |
| 会社 | : タキロンシーアイ株式会社 |
| 住所 | : 〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405 |
| 担当部門 | : 安富工場 技術グループ |
| 電話(緊急連絡先) | : 0790-66-2285 |
| ファックス | : 0790-66-2378 |
| 作成日 | : 2012年8月1日 |
| 改訂日 | : 2020年1月6日 |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | |
|---------------------|----------|
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | : 区分2 |
| 皮膚感作性 | : 区分1 |
| 発がん性 | : 区分2 |
| 生殖毒性 | : 区分1B |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露)(吸入) | : 区分2(肺) |
| 水生環境有害性(急性) | 区分3 |
| 水生環境有害性(長期間) | 区分3 |

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激。
H351 発がんのおそれの疑い
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器(肺)の障害のおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

: **安全対策:**
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置：

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこ

と。その後も洗浄を続けること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

保管：

P405 施錠して保管すること。

廃棄：

P501 内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分する。

GHS分類に該当しない他の危険有害性：水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

| 化学名(別名) | CAS番号 | 含有量 | 官報公示整理番号 |
|--------------------------|------------|------|--|
| ウレタン樹脂 | 非公開 | 66% | 化審法：判定結果通知受領済 |
| m-キシリレンジイソシアネート | 3634-83-1 | 0.5% | 化審法：3-2216 |
| C10-13 イソパラフィン | 非公開 | 3.9% | 非公開 |
| N-メチル-2-ピロリドン | 872-50-4 | 5.8% | 化審法：5-113 安衛法： 8-(1)-1013, 8-(1)-1014 |
| プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート | 108-65-6 | 5.1% | 化審法：2-3144 |
| 酸化チタン | 13463-67-7 | 4.6% | 化審法：1-558 化審法：5-5225 |
| 非晶質シリカ | 非公開 | 5.1% | 化審法：既存 |
| 安定剤 | 非公開 | 1.6% | 化審法：既存 |
| 色材 | 非公開 | 5.1% | 化審法：既存 |

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。
症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。
付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹼を使って良く洗い落とす。
外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合 : 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
直ちに清浄な水で数分間洗浄する。
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
口を水ですすぐ。
保温して速やかに医師の手当てを受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 棒状水, 霧状水, 泡消火剤, 粉末消火剤, 二酸化炭素 (CO2)
- 使ってはならない消火剤 : なし
- 特有の危険有害性 : 当該製品は火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
- 詳細情報 : 付近の発火源となるものを取り除く。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。

- 風上から作業し、風下の人を避難させる。
作業の際には保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、蒸気やミストを吸入しないようにする。
漏れた場所の周辺から人を退避させる。
有害性を知らせる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 火花を発生させない工具を使用すること。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比）

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
取扱いは換気の良い場所で行い、蒸気が発生しないようにする。
- 安全取扱注意事項 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに蒸気を発散させない。
発散した蒸気を吸い込まないようにする。
- 接触回避 : 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。
- 衛生対策 : 取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

- 安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。

混触禁止物質：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

安全な容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準[2014]

未設定

許容濃度

日本産業衛生学会. 許容濃度等の勧告[2015]

N-メチル-2-ピロリドン : OEL-M 1 ppm (4 mg/m³)

ACGIH [2016]

酸化チタン : TWA 10 mg/m³

設備対策 : 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具 : 防毒マスク (有機ガス用)

手の保護具 : 保護手袋

眼の保護具 : 安全ゴーグル, 保護眼鏡, 保護面

皮膚及び身体の保護具 : 保護服, 安全靴, 安全帽, 保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 : 固体

形状 : ペースト

色 : 灰色

臭い : 溶剤臭

安全性データ

pH : データなし

融点・凝固点 : データなし

沸点, 初留点及び沸点範囲 : データなし

引火点 : 47 °C (推定値)

| | |
|----------------|--------------------------------------|
| 自然発火温度 | : データなし |
| 爆発範囲の下限 | : データなし |
| 爆発範囲の上限 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 密度 | : 約 1.12 g/cm ³ (25 °C) |
| 水への溶解性 | : データなし |
| n-オクタノール／水分配係数 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|--|
| 反応性 | : データなし |
| 化学的安定性 | : 通常の状態では安定 |
| 避けるべき条件 | : 高温, 湿気 |
| 混触危険物質 | : アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等 |
| 危険有害な分解生成物 | : 窒素酸化物 |
| 危険有害反応可能性 | : NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。 |

11. 有害性情報

製品:

| | |
|-------------------|--|
| 急性毒性（経口） | : 分類できない |
| 急性毒性（経皮） | : 分類できない |
| 急性毒性（吸入） | : 分類できない |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | : 区分2 |
| 感作性 | : 呼吸器感作性: 分類できない ※区分1のm-キシリレンジイソシアネートを0.5%含有する。 皮膚感作性: 区分1 |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない |
| 発がん性 | : 区分2 |
| 生殖毒性 | : 区分1B |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | : 分類できない |

特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分2(肺)
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

成分:**N-メチル-2-ピロリドン :**

急性毒性（経口） : LD₅₀ ラット: 3,990 mg/kg
急性毒性（経皮） : LD₅₀ ラット: 4,000 mg/kg
急性毒性（吸入） : LC₅₀ ラット: 5.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート :

急性毒性（経口） : LD₅₀ ラット, オス: 8,532 mg/kg
急性毒性（経皮） : LD₅₀ ラット: > 5,000 mg/kg
急性毒性（吸入） : LC₅₀ ラット: > 41.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

酸化チタン :

急性毒性（経口） : LD₅₀ ラット: > 20,000 mg/kg
急性毒性（経皮） : LD₅₀ ウサギ: > 10,000 mg/kg
急性毒性（吸入） : LC₅₀ ラット: > 6.82 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

m-キシリレンジイソシアネート :

急性毒性（経口） : LD₅₀ ラット: 3,200 mg/kg
急性毒性（経皮） : LD₅₀ ラット: > 2,000 mg/kg
急性毒性（吸入） : LC₅₀ ラット: 0.175 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 種: ウサギ
結果: 皮膚に刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 種: ウサギ
結果: 眼に対する不可逆的影響

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 試験方法: 最大化試験
種: モルモット
結果: 製品は皮膚過敏化性である、副分類1A
結果: 吸入による感作発生の可能性

生殖細胞変異原性

- in vitro での遺伝毒性 : タイプ: Ames 試験
結果: 陰性
- : タイプ: in vitro染色体異常試験
結果: 陽性
- in vivo での遺伝毒性 : タイプ: 小核試験
テスト種: ラット (オス)
投与経路: 経口
結果: 陰性
- 特定標的臓器毒性, 単回ばく露 : 暴露の主経路: 吸入
標的臓器: 気道
アセスメント: この物質 または混合物は特定標的臓器毒性物質、
単回ばく露、区分1に分類
- 特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 暴露の主経路: 吸入
標的臓器: 気道
アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反
復ばく露、区分1に分類される。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性(急性) : 区分3

長期間毒性

水生環境有害性(長期間) : 区分3

成分:

N-メチル-2-ピロリドン :

急性毒性

魚毒性 : LC₅₀ (Lepomis macrochirus (ブルーギルマンボウ)): 832 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に : EC₅₀ (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4,897 mg/l
対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性 : EC₅₀ (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリ
コルタム(緑藻類))): 501 mg/l
曝露時間: 72 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート :

急性毒性

魚毒性 : LC₅₀ (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に : EC₅₀ (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l
対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性 : EC₅₀ (Selenastrum capricornutum (緑藻)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 72 h

m-キシリレンジイソシアネート :

急性毒性

魚毒性 : LC₅₀ (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に
対する毒性 : EC₅₀ (Daphnia magna (オオミジンコ)): 33 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性 : ErC₅₀ (Pseudokirchneriella subcapitata (旧: セレナストラム)
(緑藻類)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート :

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 0.36

他の有害影響

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知
の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。
使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

IMDG

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

国内規制

陸上輸送 : 消防法等の規定に従う

海上輸送 : 規制なし

航空輸送 : 規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
 移送時にイエローカードを保持する。
 火気注意

応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

国内適用法令

毒物及び劇物取締法 : 毒物、劇物 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））[酸化チタン（IV）, N-メチル-2-ピロリドン]
 労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）引火性の物

化審法 : 優先評価化学物質 [N-メチル-2-ピロリドン]

化学物質排出管理促進法 : 第1種指定化学物質 非該当
 第2種指定化学物質 非該当

消防法 : 指定可燃物, 可燃性固体類, (3000 キログラム)

既存化学物質リスト

| | | |
|-------------|------------|-----------------------------------|
| 日本 | 化審法: | 製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。 |
| アメリカ合衆国（米国） | TSCA: | 登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。 |
| 欧州連合 | REACH: | 別途お問い合わせください。 |
| カナダ | DSL, NDSL: | 登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。 |
| オーストラリア | AICS: | 登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。 |
| 韓国 | KECI: | 登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。 |
| 中国 | IECSC: | 登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。 |
| ニュージーランド | NZIoC: | 登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。 |
| フィリピン | PICCS: | 登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。 |
| 台湾 | TCSI: | 登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。 |

16. その他の情報

- 参考文献等 : 自社データ
日本工業規格 (JIS) Z7252:2014
日本工業規格 (JIS) Z7253:2012
その他文献調査等により得られた情報
- ホルムアルデヒド放散量区分 : (日本シーリング材工業会) ホルムアルデヒド汚染対策のための
自主管理規定JSIA-F☆☆☆☆

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。